

(様式第1号)

## 自己評価及び外部評価結果票

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171600226		
法人名	社会福祉法人 歌垣福祉会		
事業所名	グループホーム うたがきの里		
所在地	佐賀県杵島郡白石町大字築切264番地1		
自己評価作成日	平成23年1月31日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do">http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成23年2月19日	外部評価確定日	平成23年3月22日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>周りを田園に囲まれた自然環境のもと、近くには小学校・保育園もあり、子供たちの声を聞きながら毎日を過ごしています。散歩やウッドデッキ・玄関先での外気浴を楽しみ、ゆっくりしたふいんきの中、笑顔や笑い声が飛び交い、家庭的な温かみをモットーに真心で支援しています。また、レクリエーション(風船バレー軽体操等)も楽しみの1つです。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>周辺を田園に囲まれた新興住宅地の一角に同一敷地内に同じ法人のデイサービスセンターに併設されたグループホーム。同法人は特別養護老人ホームも運営されており、スタッフの工夫もありゆきとどいた介護、整然と設備が整備されている。窓の外にはウッドデッキも備え、建物内部も大きな梁がむきだして、天井も比較的高くロジを思わせる開放的な作りになっている。入居者の周りもゆっくりと時間が流れ、スタッフの動きも良く訓練され、工夫された無駄のない動きに思われた。</p>
--

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( )	自己評価／ユニットB( )	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念を掲げ毎日、朝礼時に唱和し実践に繋げている	基本理念を掲げ毎日、朝礼時に唱和し実践に繋げている	「私達は3つの愛、敬愛・信愛・友愛の精神と出会い・ふれあい・語り合いの心で高齢者福祉に貢献します。」の基本理念を有し、毎日朝礼(ミーティング)時に参加者全員で唱和し、共有・実践に繋げる意識を大切にしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入り、広報誌やお知らせを配ってもらったり、クリーンデイの参加、防災訓練時には、消防団、地元住民の協力を得て実施している	自治会に入り、広報誌やお知らせを配ってもらったり、クリーンデイの参加、防災訓練時には、消防団、地元住民の協力を得て実施している	ホーム開設以来自治会活動に参加する事を希望し、応分の負担も行ない、回覧板も回して頂いている。区役にも参加し、ホーム周辺の清掃にも配慮し日常的な交流にも配慮している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	消防団の協力を得て行っている訓練時などに支援の方法等のお話しをしている	消防団の協力を得て行っている訓練時などに支援の方法等のお話しをしている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告が主であり、意見をサービス向上に活かすまでには至っていない	報告が主であり、意見をサービス向上に活かすまでには至っていない	運営推進会議には町役場担当者、地域代表者、家族代表者、スタッフと出席して頂いている。内容はホーム内業務の計画と実施報告が主な議題ではあるが、役場からの情報や家族の方の希望や意見を聞かせて頂いている。記録もファイルしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進委員会に出席をお願いし、報告を行い協力関係を築ける様に努めている	運営推進委員会に出席をお願いし、報告を行い協力関係を築ける様に努めている	町役場はじめ行政担当者との情報交換は出来ている。運営推進会議には可能な限り出席頂いており、生活保護の関係でも役場に出向いて協力関係を築ける様につとめている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	殆どの方は身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、家族の希望もあり身体拘束をしている方もいる	センサーマットと見守りで身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる	スタッフ全員が身体拘束のリスクは認識している。年を重ねるにしたがって入居者の心身の状態も弱くなり、入居者の安全から拘束の必要性が感じられた時には家族に相談し、了承を得、短期間で終わらせるように記録に残し、スタッフで研修に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体の虐待防止は徹底できているものの、言葉による虐待がとりようによってはあるのではないかと、職員会議時に虐待防止委員会を開き、互いに注意を促し合い徹底的に努めている	身体の虐待防止は徹底できているものの、言葉による虐待がとりようによってはあるのではないかと、職員会議時に虐待防止委員会を開き、互いに注意を促し合い徹底的に努めている		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護を学ぶ機会があったが、支援までには至っていない	権利擁護を学ぶ機会があったが、支援までには至っていない		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	丁寧な説明をするよう心がけている	丁寧な説明をするよう心がけている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	介護相談員さんを受け入れ聞いてもらったり、なるべく言い易い雰囲気を作り、直接本人から言って来られる事もある	介護相談員さんを受け入れ聞いてもらったり、なるべく言い易い雰囲気を作り、直接本人から言って来られる事もある	元気な入居者の方とはゆっくり話す時間もとられ、家族とも面会時等で意見・希望を言って頂ける雰囲気を作るように努めている。又、運営推進会議において出された意見・希望は運営に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議や日常業務時に意見を聞き、実行できるものは実行している	月2回の職員会議や日常業務時に意見を聞き、実行できるものは実行している	管理者も参加して持たれる朝礼(ミーティング)、月一度のスタッフ会議、年に一度数回に分けて実施される法人全体のスタッフ旅行、それに年に数回のスタッフ懇親会等でコミュニケーションがとれている。意見・提案は必ず話し合っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を実施している 育児休業が取得し易いよう職員の体制を整備している	人事考課を実施している 育児休業が取得し易いよう職員の体制を整備している		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修会(外部研修)に積極的に参加させている 内部研修(全体研修)及び資格取得の為の研修を実施している	各種研修会(外部研修)に積極的に参加させている 内部研修(全体研修)及び資格取得の為の研修を実施している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修会時の交流やグループホーム地域連携で会議を行い情報交換や相談をして交流を行っている。	外部研修会時の交流やグループホーム地域連携で会議を行い情報交換や相談をして交流を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( )	自己評価／ユニットB( )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面会に行ったり、ホーム見学に来てもらい会話を少しでも慣れてもらえるように努めている	入所前に面会に行ったり、ホーム見学に来てもらい会話を少しでも慣れてもらえるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所にアセスメントを行い、家族とも十分に話しをしている 又、面会時には家族に状況報告を行っている	入所にアセスメントを行い、家族とも十分に話しをしている 又、面会時には家族に状況報告を行っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず、本人の声を聞き、家族の希望と合わせ必要な支援を見極めるよう努めている	まず、本人の声を聞き、家族の希望と合わせ必要な支援を見極めるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で出来る役割を持って頂いたり、共に作業をしたり、食事をしたりと互いに支え暮らしていけるよう努めている	昔からのしきたりや、地方の行事など教えてもらったり、畑の野菜作りや漬物作りの知恵をもらったりと人生の先輩の教えを請い、共に支え合う関係を築いている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、近況報告をし、何かあったらその都度、連絡を取って協力を得ている	面会に来ていただいたり、家へ連れて帰っていただいたり、受診支援をしていただく等体調変化など連絡を蜜に取り共に支えていく関係を築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出支援や面会について気軽にお願いしている	盆正月の外泊も難しくなれているので、親戚・家族の集まる時に家への外出だけでも受け入れてもらえる様をお願いしたり電話や面会を気軽にお願いしている。	家族の面会も比較的多く、その時に以前の友人・知人も一緒に来られる事もある。お帰りになっても必ずもう一度いらして頂く様にスタッフからもお願いしている。又、機会を作ってバスハイクを兼ねて住んでおられたご近所へ出向く事もある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士コミュニケーションを取られ又、居室に立ち寄りて談話されている A、Bユニットの交流も自由に行き来されている	利用者同士コミュニケーションを取られ又、居室に立ち寄りて談話されている A、Bユニットの交流も自由に行き来されている		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も情報提供したり、家族に会った時などは挨拶を交わす程度である	退所後も情報提供したり、家族に会った時などは挨拶を交わす程度である		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	コミュニケーションを取り、本人の気持ちを引き出している 困難な場合は、ニーズを検討している	本人様の思いや希望に添えるよう傾聴し、思いを話しの中より見つけ出す様に努めているが、体調コントロールもあり、食事量とか希望に添えない事もある	業務の合間であってもスタッフと入居者との会話の時間も十分にとれている。 比較的元気な入居者からはいろんな話も聞けて落ち着いた生活をして頂けるように配慮し、聞き取ることが困難な入居者に対しては本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族からアセスメントを取り、前事業所の情報提供も参考にし、把握に努めている	入所前のアセスメントや日々の会話により把握に努め、その人らしい生活が送れる様、また、それに近づけるよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日誌や健康管理表、ケアチェック表等、毎日記録し目を通し現状の把握に努めている	日誌や健康管理表、ケアチェック表等、毎日記録し目を通し現状の把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	常にスタッフ間で意識付けをし利用者の変化異常等を敏感に観察し、気付き等を日誌に記録し、ケアを工夫し介護計画を作成している	常にスタッフ間で意識付けをし利用者の変化異常等を敏感に観察し、気付き等を日誌に記録し、ケアを工夫し介護計画を作成している	入居者に対してはスタッフの居室担当制の仕組みにしており、見直しのモニタリング、介護計画作成準備をそれぞれ担当し、入居者、家族の希望も十分に聴取した上でスタッフ会議に議題として話し合い、日誌を参考にアイデアを出し合い計画作成者がまとめている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気付き等情報の共有に努めケアに役立てる様に努めている	気付き等情報の共有に努めケアに役立てる様に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況変化に応じて、サービス提供も柔軟に対応しているが、まだ検討の余地のあるものもある	本人の状況変化に応じて、サービス提供も柔軟に対応しているが、まだ検討の余地のあるものもある		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域消防団との避難訓練、友人の訪問、踊りのボランティアの受け入れをしている	地域消防団との避難訓練、友人の訪問、踊りのボランティアの受け入れをしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	殆どの利用者さんが隣接している医院にかかっている為、すぐに対応でき適切な医療を受けておられる かかりつけ医は、希望を大切にしている	殆どの利用者さんが隣接している医院にかかっている為、すぐに対応でき適切な医療を受けておられる。また、家族付き添いの受診は連絡等かわしている かかりつけ医は、希望を大切にしている	かかりつけ医の診察は入居当初は殆どの方が家族の送り迎えにより通院しておられるが、家族の協力が得にくい時には支援をしている。家族の希望により隣接病院や協力病院に移られる入居者もある。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	適宜、看護職に情報、気づきを伝え、相談し対応している	適宜、看護職に情報気づきを伝え、相談し対応している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	包括支援センター、ソーシャルワーカーと連絡を取り、また入院中に数回面会に行き、情報交換し関係作りを行っている	包括支援センター、ソーシャルワーカーと連絡を取り、また入院中に数回面会に行き、情報交換し関係作りを行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族に現状報告等を密にし、グループホームで出来る事、出来ない事を説明し、現状は夜間の医療対応が出来ない為、重度化された場合は病院に入院して頂いている	家族に現状報告等を密にし、グループホームで出来る事、出来ない事を説明し、現状は夜間の医療対応が出来ない為、重度化された場合は病院に入院して頂いている	重度化や終末期に向けた方針は、まだ文書化されてはいないものの入居される時、その状態におちいられた時には家族と十分に話し合い、説明しながら方針を共有出来る様に支援に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	講習会参加、AEDの使い方を実際に行っているが、定期的には行っておらず、実践力に関してはまだ、不安な気持ちを持っている	講習会参加、AEDの使い方を実際に行っているが、定期的には行っておらず、実践力に関してはまだ、不安な気持ちを持っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防火訓練は年2回、地元消防団、地域住民の協力を得て実施している 地震、水害等は行えていないが、非常時連絡網で協力を得る様になっている	防火訓練は年2回、地元消防団、地域住民の協力を得て実施している 地震、水害等は行えていないが、非常時連絡網で協力を得る様になっている	防災についてはこれまで数回、地域広域避難場所を確認し、避難の訓練も行った。又、火災総合訓練も年2回地元消防団の協力を得て実施している。	夜間を想定したスタッフ間の緊急連絡網の整備や、地域住民の参加や協力を得た訓練の実施を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( )	自己評価／ユニットB( )	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉がけや対応をしている	人格の尊重に心がけプライバシーを損ねないように努めているが、たまに出来ない事もある	人格の尊重に心がけプライバシーを損ねないように努めているが、たまに出来ない事もある	おおむねスタッフは入居者に対して言葉掛けや誘導支援でも人格の尊重や誇り・プライバシーを損ねない対応ができています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を言ってもらったり、職員から問いかけて自己決定してもらっている	本人の思いや希望を言ってもらったり、職員から問いかけて自己決定してもらっている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	なるべく一人ひとりのペースを大切にしながら、過ごして頂いているが、全体の流れを優先した支援になってしまう事もある	なるべく一人ひとりのペースを大切にしながら、過ごして頂いているが、全体の流れを優先した支援になってしまう事もある		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を利用し、さっぱりしてもらったり、自由に好みの服や髪留めを使われている	家族の協力を得てパーマをかけられている方もありますが、ほとんど訪問理容を利用 服は、本人の好みを重視している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る事をやって頂き、食事形態も変え、嗜好も考慮しながら職員も一緒にテーブルで楽しんでいる	好き嫌いがあって食べられない物の時は、代替品を提供している	食事に対する入居者の期待の大きさをスタッフも良く理解している。年を追うごとに入居者の体力の減退もあり、配膳・下膳等上手く出来ていないが、スタッフも共にテーブルを囲み、同じ食事を頂いてなごやかに楽しく支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの取れたメニューを作成し、なるべく摂取して頂く形態も個々で変えている 夜間も水分が取れるよう居室に準備している また、水分を摂ろうとされない方には、少しでも吸収の良いイオン水(ポカリスエット等)を提供したりしている	バランスの取れたメニューを作成し、なるべく摂取して頂く形態も個々で変えている 夜間も水分が取れるよう居室に準備している また、水分を摂ろうとされない方には、少しでも吸収の良いイオン水(ポカリスエット等)を提供したりしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの誘導、声掛け介助を行い、能力に応じた支援を行っている	毎食後、口腔ケアの誘導、声掛け介助を行い、能力に応じた支援を行っている		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間のポータブルトイレの使用や排泄声掛けしているが、オムツ使用が増加した	排泄声掛け、誘導また、ズボンの下ろし方が良く出来ず失禁される方には、下ろし方、ダラダラと出てしまう方にはさっと座られるよう、その都度声掛け介助しているが、なかなか上手いかず	夜間対応はオムツでなくリハビリパンツと尿取りパットの使用が増加している。毎日排泄チェック表を用いてパターンを把握し、声を掛け、誘導し、夜間にはポータブルも用意をして自立に向けた支援につとめている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックを行い便秘解消に繋がる飲食物の提供、歩行や運動の働きかけを行い便秘薬の調整も行っている。	排便チェックを行い便秘解消に繋がる飲食物の提供、歩行や運動の働きかけを行い便秘薬の調整も行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴の曜日は決めている。昼間の入浴ではあるが、出来るだけ個人の希望に添って午前や午後に入浴してもらい、入浴時間は慌てさせずゆっくり入ってもらっている	入浴の曜日は決めている。昼間の入浴ではあるが、出来るだけ個人の希望に添って午前や午後に入浴してもらい、入浴時間は慌てさせずゆっくり入ってもらっている	入浴は2ユニットで交互に出来る様にして入居者は毎日入浴出来る様に配慮している。体調がおもわしくない入居者には足浴、清拭で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望に添って自由に居室で休んだりされている 空調には気をつけている。	本人の希望に添って自由に居室で休んだりされている 空調には気をつけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋やDrからの説明を報連相ノートで連絡し、服薬支援、状態観察に努めまた、Drに変化の報告もしている。	処方箋やDrからの説明を報連相ノートで連絡し、服薬支援、状態観察に努めまた、Drに変化の報告もしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	軽作業(台拭き、洗濯物たたみ)や読書・パズル等自由に余暇活動を楽しまれている	唱歌、風船バレー、茶碗拭き、洗濯物たたみ、畑仕事等皆さんが喜ばれる事を見つけ出しお願いしたり提供している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	身体的にも重度化が進み以前より散歩も減り、外出もインフルエンザ流行等もあり減っている 全員揃っての外出は行えず、数名ずつドライブや買い物に時々出かけている	身体的にも重度化が進み以前より散歩も減り、外出もインフルエンザ流行等もあり減っている 全員揃っての外出は行えず、数名ずつドライブや買い物に時々出かけている	入居者の体力の減退や感染症の流行等で外出の機会も少なかったが、数名ずつの買い物には出掛けて支援している。	



自己	外部	項目	自己評価／ユニットA( ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB( ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小銭を持っておられる方もあるが、殆どの方がお金は所持しておられないが、家族より小遣いを預かっており希望があれば使えることを話しているしかし、使用の希望は殆どない	小銭を持っておられる方もあるが、殆どの方がお金は所持しておられないが、家族より小遣いを預かっており希望があれば使えることを話しているしかし、使用の希望は殆どない		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話希望者には取次ぎを行い、手紙を書かれる場合は葉書、ペン、切手等を準備した	昔、手紙を書いておられた方に勧めてみても「字がよう見えん、やぐらしゅなった」と書こうとされなくなった 電話は家族の方から掛けてもらった		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	西日を防ぐ為、日よけを付けたり、カーテン、ブラインドで採光を加減したり季節の花を飾ったりと工夫した	西日を防ぐ為、日よけを付けたり、カーテン、ブラインドで採光を加減したり季節の花を飾ったりと工夫した また、テレビの音量にも注意した	ディルム・食堂の天井は吹き抜けで高く、梁が装飾の一部となっている。屋根には天窓も用意されていて採光にも配慮されている。換気にも利用され、畳の間の西にはカーテンが有りほどよい暖かさが保たれている。壁面には行事の写真も有り季節の装飾も楽しさを醸し出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席、ソファ、畳の間とあり、思い思いに過ごしてもらっている また、ウッドデッキ、玄関に椅子を並べて外気浴をして喜んでもらっている	テーブル席、ソファ、畳の間とあり、思い思いに過ごしてもらっている また、ウッドデッキ、玄関に椅子を並べて外気浴をして喜んでもらっている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた寝具を持って来られたり、ご主人や孫、ひ孫の写真飾ったり、大好きな花を飾ったりされている	使い慣れた椅子を持って来られたり、写真や孫やひ孫からのお手紙、プレゼントの置物、ぬいぐるみ、また、使い慣れた枕等を持って来られている方もいる	居室各室にはベッドとクローゼットが用意をされている。衣裳ダンスやソファ・テーブルが置かれた部屋も有り、壁には家族やお孫さんの写真が飾られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりをつけ、目線に合ったところにも名札をかけ、トイレの場所を遠くからも分かり易くし、洗面所に椅子を置いたりと出きる限り自分でできるよう工夫している	手すりをつけ、目線に合ったところにも名札をかけ、トイレの場所を遠くからも分かり易くし、洗面所に椅子を置いたりと出きる限り自分でできるよう工夫している		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。  (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。  (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。  (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。  (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。  (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。  (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない